

はなわ 議会だより

2024
No.165

発行/福島県塙町議会
令和6年1月19日



12月定例会

みんなで体操 上手にできたよ!
体操教室 はなわこども園(年少)

議員と語ろう(議会報告会・意見交換会) …P 2 ~ 3
指定管理委託料増額などを可決 ……P 4 ~ 7
町政を問う(一般質問) ……………P 9 ~ 19
追跡レポート ……………P 20



塙町議会ホームページ
QR



塙町議会フェイスブック
QR



塙町議会X(旧ツイッター)
QR

4年ぶりの開催！ 議員と語ろう

議会報告会・意見交換会を開催しました



議長あいさつ

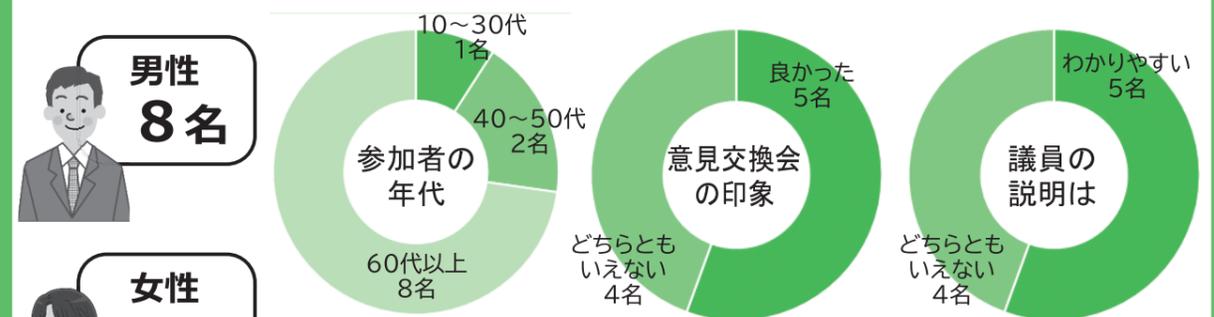


活発な意見交換が行われました

令和元年開催以来となる議会報告会・意見交換会を10月27日(金)、埴町防災センター3階会議室において開催しました。議会事務局長より「庁舎建設の進捗状況と子ども第三の居場所事業について」の報告後、鈴木孝則副議長が進行役となり意見交換会が行われました。テーマは ①子育て・高齢者支援について ②議員の定数と報酬について ③ほかどんなことでも で、幅広い視点から意見や要望が出されました。今後、この内容をよりよい町づくりのための議会活動に反映させていきます。

事項	参加者からの意見	議会からの返答
①子育て・高齢者支援	給食費無償化になって、品数・量が減ったと子どもに聞いたが、無償化は非課税世帯に限ってもいいのではないか。	町では、物価高騰により内容の低下を招かないように、そのときは補正予算で対応していく。
	子育てでは、出産から5歳程度までが一番大変な時期と思う。この時期に親が困らずに子育てできる環境整備をお願いしたい。	保育事業、保育外の子育てサロン等、他町よりは整備されていると評価している。行政がやっているの、分かりづらいものもあるが、さまざまな制度があるので、うまく活用していただきたい。
	65歳以上の独居者を民生委員が訪問確認している。対象人数や活動内容を認識してほしい。	人数の詳細把握ができていなかった、対象数などにも関心を持って取り組んでいく。民生委員によっては対象範囲が多く、ガソリン代等費用負担に差があることは認識しており、もっと強く働きかけていく。
②議員の定数と報酬	議員報酬が安すぎる。議員で食べていけるためにも月額250,000円程度に底上げをして、普通の生活を行うための最低の報酬を守りながら、やるべきことをやってほしいと思う。率先垂範で合理化をして、若い人が立候補できるようにしてほしいと思う。	県内の町議員の報酬は、ほぼ月額200,000円以上である。埴町の報酬は月額198,000円で、若い人の生活は成り立ちにくく立候補しづらい、どうしても兼業で年金をもらっている人が議員に立候補しやすくなっている。
	報酬はもう少し上げてもいいのではないか。	来年度以降検討していくことになる。
③ほかどんなことでも	人を集めるのに公園の整備をしてはどうか。	・治水対策を含めた大きな公園、のびのびと遊べる公園の設置を提案したところ、町からは検討はするとの回答。 ・振興計画には、令和6年度に公園設置整備の測量計画等の予定はある。
	流灯大会や産業祭の依引きなど埴町の目玉イベントがなくなってしまっている。	秋まつりをもっと賑わえられるよう、まち振興課で計画している。
	埴町は結構いい山があると思う。町民が健康維持のためにハイキングや手軽にできる登山道を整備すべきでは。	町は大笹山への遊歩道を整備する。羽黒山も整備されている。八溝山は現在、通行止めが続いている。
	新聞に町長が除染土の受け入れを検討するとでているが、議会と打ち合わせはあったのか。	寝耳に水、観光等に影響がでると思う。全員協議会を開いて、町長の話を知りたいと思っている。 ※11月1日に全員協議会を開催し、町長からの説明を受けた。
	厚生病院の医師確保。	県への要望を出すことが議会のできることであり、今後も機会のある都度、県に要望していく。
	埴町は若い世代もおり、恵まれた自然を生かしていければと思うが、大型太陽光パネルによる景観の破壊と自然災害の誘発が心配される。福島市で大規模太陽光パネルの設置を景観確保から制限するとした。埴町でも同様のことができないか。	町では太陽光パネルに代わる再生可能エネルギーの試験が順次始まっていく。景観条例の制定を提案したが、太陽光パネル設置許可は県が出すもので、条例をつくっても制限に効力を発揮できるかは難しいが、町もある程度の歯止めが必要だろうと考えており検討をしていきたい。
	林業製材業界では、埴町は有名であり、大手の商社が埴町に来町している。大手ハウスメーカーでも埴町産材が多用されている。原木市場が町内に2カ所あるのは埴町だけ。移住を考えるなら林業もからめてアピールすると面白いと思う。	移住定住策の中で、既存事業者の振興にとどまらず、就職としての林業関係へのフォローアップも町に働きかけていく。
商工会女性部でダリちゃんを作成し、ダリちゃんダンスを考案し、埴町のPR活動をしている。コロナの影響もあり活動の場が少なくなってしまう。イベントを多くして若者たちに楽しんでもらい、町を盛り上げていけるような場が必要ではないかと活動しているがアイデア含め厳しいものがある。議員も力添えをいただきたい。	各所で単独マルシェが開催されはじめている。台宿のダリアの摘み取り園など点での活動がある。これが線としてつながれば町内のさまざまな場所に来ていただくと期待している。議員もダリちゃんバッジをつけるなどして、さまざまな機会に町のPRに積極的に協力していく。	
結婚して埴町に住んでいる。良い町だと感じているが、埴町の知名度が低いと感じている。花やおいしい食べ物、子育て対策など、もっと外に情報を出してほしいと思う。若い子にインスタグラムをしてみたらどうかと思う。	SNSなどは、埴町観光協会に委託しており、ダリアのフォトコンテスト事業などで情報発信はしているが、まだ弱いように感じる。議会としても強化するように町に働きかけをしていく。	

参加者データ



●要望や感想など（自由記載）

- 意見交換できてよかった。
- はじめて参加した。再度機会があれば、また参加したいと思った。
- 内容が良かった。一人一人の意見に丁寧に答弁したのが良い。
- さまざまな意見が出ていた。
- 今後もこのような会を続けてほしいと思う。また、子ども（小中高生）を対象とした意見交換の場があってもいいと思います。
- 集会所 トイレ和式から洋式に変更をお願いします。

湯遊ランドはなわ指定管理委託料の増額

(エネルギーコスト上昇分)などを含む補正予算を可決

一般会計4168万円を減額補正のほか、教育委員会委員を同意



株式会社埴町振興公社へ運営委託している「湯遊ランドはなわ」

12月の例会の決定

12月定例会は12月7日(木)から12日(火)までの会期で開催しました。条例2件、計画変更1件、補正予算6件が上程されました。最終日には、条例2件、財産の取得1件、人事案件1件が追加議案として提出され、いずれも原案どおり可決・同意となりました。

一般会計補正予算

【主な内容】

- 湯遊ランドはなわ指定管理委託料 1000万円
- エネルギーコスト上昇分について増額補正するもの。財源の一部については、原油価格高騰対策として特別交付税の対象となり現在国に申請中。
- 宿日直手当 59万円
- 宿直業務を委託している2名のうち1名の方が体調不良により業務遂行が困難となっており、現在1日おきに町職員が交代で宿直を行っていることによるもの。
- 住基システム改修委託料 352万円
- コンビニ交付システム改修委託料 62万円
- 戸籍附票システム改修委託料 275万円
- 国が推進する行政のデジタル化により戸籍法などが改正され、氏名にふりがなを付することになったことに伴い、関係するシステム改修委託料で全額国の補助金で賄うもの。
- 埴町子ども基金積立金 100万円
- 子どもたちのためにという寄付があったため、基金へ積み立てをする。
- 農業用施設工事費(真名畑) 200万円
- 農業用施設工事費(片貝) 200万円
- 農業用施設工事費(上洪井) 1000万円
- 真名畑および片貝地内の農道路肩崩落箇所の復旧工事費、上洪井地内の水路整備工事費。
- 地籍調査測量業務等委託料 △616万円
- 令和5年度で実施予定であった片貝2地区の補助金割当内示がなかったため減額補正するもの。

- 水道管移設補償費 240万円
- 北野松岡線改良工事に伴い水道管移設補償が生じるため増額補正する。
- ウッドデッキ改修工事費 200万円

こども園に設置しているウッドデッキが、雨風等で劣化し危険な箇所もあることから、劣化部分を木製から人工木タイプに改修する。
・常豊地区運動場整備工事費 180万円

利用者の健康増進を図るため、ゲートボール場を整備するもの。

質疑(補正予算)

審議結果一覧No.4

Q 湯遊ランドはなわ指定管理委託料の増額だが、埴町指定管理者の条例第8条に基づき、別の議案で提出すべきものではないか。5年に一度の更新になっていないが、5年前に債務負担行為が行われているか。全員協議会で、令和6年度からの指定管理料はエネルギーコストを精算性にすると説明があったが、エネルギーコスト全額をみるのか。また、金額はどの程度予想しているのか。

A (まち振興課) 平成31年3月定例会において、債務負担行

為について議決をいただいている。経営を圧迫しているエネルギーコストについて、実際にかかった分を指定管理料として支出する予定である。試算としては約5000万円とみている。指定管理料は、5年間の契約で年度間協定において甲乙協定で決めていく。収益が向上したり、エネルギーコスト代が下がったりした際は都度協議する。

Q 債務負担行為とは
一般家庭に例えると「ローン」にあたる。一つの事業等が単年度で終了せずに後の年度においても支出しなければならぬ場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束すること。

Q 提案に至る経緯、また提案内容や振興公社は把握しているのか。町長に伺う。

A (町長) 湯遊ランドはなわは、オープン以来約217万人を超える方に利用いただいている。町にとって大切な施設であるので守っていききたい。令和元年前は3億円以上の売上があった。令和元年は台風19号の影響もあり若干下回った。2年度3年度は、コロナの影響で1億5000万円の売上であったが何とか耐えてきた。4年度は6000〜7000万円

向上している。この施設を守っていく思いで資金を投下している。この施設が町・町民にとっていかに大切かを考えれば、十分に見合ったものである。

Q 振興公社で組織決定した議事録や経営分析に係る資料の提示を受けて町が提案すべき。内容が分からない中、指定管理料増額の提案は判断できかねる。振興公社へ対して、経営に係る指示をしているのか。

A (町長) 従業員は節電の努力をしており、自動販売機設置台数を減らしたり(18台から7台に)、高温サウナの営業時間短縮(6時から24時までを10時から20時まで)などの取り組みで約400万円の節約が図られている。これ以上に現場をみて経営改善をしていきたい。従業員がやりがいを持って働く職場づくりをしていく。

Q こども園のウッドデッキ改修工事費だが、令和2年に開園してまだ4年目なのに修繕が必要なのか。

A (こども園) 修繕箇所は、園庭に面したウッドデッキ北側である。こども園本体には雨どいがあるが、ウッドデッキ先端箇所は雨どいがないため雨だれが落ちてきてしまうため劣化している。

また、太陽の日差しが強く当たると紫外線等の影響もあると思われる。園児たちにとっても危険なため、今回補正予算を計上し修繕をしたい。

Q 設計の段階で分からなかったのか。教育長に伺う。

A (教育長) 設計者の意向も今後、設計者と連携を図りながら負担が少ない方向で修繕するところを対応し、子どもたちの安全な園生活ができるようにしていく。

Q 大町住宅駐輪場解体工事だが、理由また解体後は新たに設置するのか。

A (まち整備課) 長く使用されてなく、自転車不法投棄されておき景観上汚く見える状態であったため解体した。現在は更地の状態で、設置の予定はない。



議案等の審議結果一覧表

No.1	議案第45号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 福島県人事委員会勧告の内容に準拠し、職員の給与改定を行うため、当該条例の所要の改正を行う。①給料表【増】 ②期末手当の支給割合【0.05月分増】 ③勤勉手当の支給割合【0.05月分増】 ④通勤手当【増】上限値のみ改正	原案可決
No.2	議案第46号	埴町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定 福島県人事委員会勧告の内容に準拠し、任期付職員の給与改定を行うため、当該条例の所要の改正を行う。①特定任期付職員および一般任期付職員給料表の改定 ②特定任期付職員の期末手当支給割合の改定。令和5年12月支給の期末手当を0.10月分増額。	原案可決
No.3	議案第47号	埴町辺地総合整備計画の変更 埴町辺地総合整備計画の「湯岐辺地」「那倉辺地」「片貝辺地」の内容を変更すること（※事業費の変更を行い、辺地対策事業債の対象事業として執行するもの）について、議会の議決を求めるもの。	原案可決
No.4	議案第48号	令和5年度埴町一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ4168万円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ72億1919万円とするもの。主な内容は、総務費・民生費・衛生費・農林水産業費など。	原案可決
No.5	議案第49号	令和5年度埴町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ331万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億5951万円とするもの。主な内容は、総務費・保険給付費・国民健康保険事業費納付金など。	原案可決
No.6	議案第50号	令和5年度埴町介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ168万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ12億6940万円とするもの。主な内容は、総務費・保険給付費・諸支出金など。	原案可決
No.7	議案第51号	令和5年度埴町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ7万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ1億1927万円とするもの。主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金など。	原案可決
No.8	議案第52号	令和5年度埴町上水道事業会計補正予算（第1号） 第3条の収益的収入および支出の予定額、第4条の資本的収入および支出の予定額、第7条に定めた経費の金額について、それぞれ補正するもの。	原案可決
No.9	議案第53号	令和5年度埴町下水道事業会計補正予算（第2号） 第3条の収益的収入および支出の予定額、第4条の資本的収入および支出の予定額、第7条に定めた経費の金額、第10条に定めた処分額について、それぞれ補正するもの。	原案可決
No.10	議案第54号	埴町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定 戸籍法と番号利用法等の関連法律が改正されたことにより、戸籍謄本等の広域交付事務などの際に手数料の徴収が必要となるため、町条例の一部を改正するもの。	原案可決
No.11	議案第55号	埴町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定 地方税法の改正に伴い、出産被保険者に係る所得割額、均等割額の軽減内容についての規定の改正。また、軽減を受けようとする納税義務者の届け出に係る規定の改正が必要のため、町条例の一部を改正するもの。	原案可決
No.12	議案第56号	財産の取得 役場新庁舎備品購入について、地方自治法および議会の議決に付すべき契約および条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。主な内容は会議用テーブル・記載台・事務用机・椅子などで取得価額は6930万円。契約の相手方は、吉田屋（埴町大字埴字本町43番地）吉田啓治	原案可決
No.13	同意第5号	教育委員会委員の任命 教育委員会委員の星春美氏が令和5年12月21日をもって任期満了・退任となるため、新たな委員として小野亜希子氏を任命することについて、議会の同意を得るもの。任期は1期4年で、令和5年12月22日から令和9年12月21日まで。	同意



菊地哲也議員

賛成
湯遊ランドの経営改善については、今のところめどが立たない。今回の増額補正は大変不満ではあるが、令和6年3月末までの債務負担行為をすでに議決している。令和6年4月以降の指定管理については、議案が提案されたときに、議員が情報・経過・内容を慎重に判断する場面と考えている。
債務負担行為をすでに議決済み



金澤太郎議員

賛成
湯遊ランドは、町民の健康増進施設であり多くの方が利用している。現在、来客数は上向いているが、燃料特に重油代の高騰により赤字決算になる恐れがある。特別交付税を見込んで、今年度の状況をしのぐことは当然必要なことである。これは国も認めていることである。
来客数は上向いている



吉田克則議員

反対
5年間の契約を無視した内容
指定管理委託料②の増額補正については、制度の在り方も疑わしい内容である。湯遊ランドはなわ施設管理は、5年間毎年2500万円を管理料として支払うことをすでに議決している。期間途中での増額は契約違反あるいは契約不履行と思われる。認めれば、議会で指定管理者制度を否定することにもなる。

②指定管理委託料とは
公の施設の管理を町が指定した者に代行させる制度。施設の管理に要する経費は、町から指定管理者に委託料として支払われる。

採決結果

議案第48号 令和5年度埴町一般会計補正予算(第4号)	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
原案可決(賛成10、反対1)	○	○	○	○	○	欠席	○	○	●	○	○	○	—

○賛成 ●反対 ※議長(割貝寿一)は採決に加わらない

質疑(財産の取得)

審議結果一覧No.12

- Q** 役場庁舎備品で、再利用しない備品の処分はどのように考えているのか。
- A** (総務課) 業者への売却を考えている。
- Q** 町民に有償で販売する考えはあるか。
- A** (総務課) 現時点では、引越の際に古い備品を一カ所に集めて再利用の有無を確認し、残ったものを売却する予定。町民への販売となると、公平性を考慮しなければならぬこともあり、かなりの時間と労力を要することになる。町民への販売要望の声があるとすれば再考したい。
- Q** 当初予算額内かの確認と、どのような経緯で決定したのか、何回ほど協議したか。
- A** (まち整備課) 予算内である。各課からの代表者と、総務課・まち整備課の計10名の職員で、7月に東京のショールームを見学・視察。11月に購入リストの打ち合わせを行った。その後、まち整備課で庁舎内を見て回り、再利用できる備品を確認した。
- Q** 指名競争入札業者の選定理由は。
- A** (まち整備課) 白河管内で、町に指名願いが提出されている営業種目で「文房具」「事務機器」の取扱業者5社で選定した。

一般質問 町政を問う



- P 10**  **下重 義人** 議員

 - ・除去土壌再生利用の町長発言
 - ・企業誘致活動
 - ・带状疱疹予防とワクチン接種費用助成
 - ・指定避難場所の設備等
 - ・地域おこし協力隊
- P 11**  **鈴木 茂** 議員

 - ・防災備品の有効活用
 - ・ふるさと納税事業
 - ・河川および道路の改良
- P 12**  **金澤 太郎** 議員

 - ・次代につなぐ主要産業
 - ・生ごみの再利用
 - ・町の情報発信力向上策
- P 13**  **吉田 広明** 議員

 - ・全国町村長大会
 - ・環境教育関連
 - ・脱炭素社会への取り組み
 - ・日軽金属関連
- P 14**  **吉村 守広** 議員

 - ・コンビニ交付サービス
 - ・ふるさと納税
 - ・子ども食堂
- P 15**  **鈴木 孝則** 議員

 - ・町有林(旧笹原財産区)の管理・運営
 - ・小野田自然塾
 - ・在宅介護支援
- P 16**  **吉田 克則** 議員

 - ・町長の町政施策
 - ・「湯遊ランドはなわ」指定管理
 - ・町職員人事行政の運営状況
 - ・学校・公民館等施設に係る維持管理等
- P 17**  **青砥 與藏** 議員

 - ・町の補助金・助成金・支援金等
 - ・公共交通空白地区の実証実験
 - ・湯遊ランド(埴町振興公社)経営
 - ・DX推進
- P 18**  **鈴木 元久** 議員

 - ・除去土壌の再利用報道
 - ・グリーンスローモビリティ
 - ・議員と語ろう(議会報告会・意見交換会)
- P 19**  **菊地 哲也** 議員

 - ・待機児童
 - ・はなわの魅力情報発信事業
 - ・公園、遊具の整備事業

一般質問用QRコード



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像をご覧いただけます。

工事請負契約

国の補助事業を財源に、西河内字松田前地内の農業用排水路の改修工事287号を行うもので、当初発注時に計上でできなかった工種を設計変更協議により追加変更する。

契約金額 49,500,000円

【変更前】 50,858,500円
(1,358,500円の増)

【変更後】 49,500,000円

契約の相手方 深谷建設株式会社
代表取締役 深谷 佳孝

〔質疑〕

審議結果一覧No.3

Q 令和5年7月14日に契約締結した当初の内容は。

A 指名競争入札により6社で行い落札率は99.1%。

Q 工事で流れがよくなることにより、土砂が堆積しない設計をしてあるか。また、農地関係で買収は発生しているのか。

A 今回の工事は37年前の水路の状態に戻すものである。買収は一切発生していない。

12月 臨時会のあらまし

第6回臨時会(会期1日間)を令和5年12月19日に開会。町長提出の議案4件の審議を行い、全会一致で原案可決となりました。

補正予算

低所得世帯向け給付金について、1世帯当たり7万円の給付金を900世帯へ給付見込みで6300万円など。

〔質疑〕

審議結果一覧No.4

Q 低所得世帯向け給付金だが、いつごろ給付するのか。

A 1月末当たりから支給できればと考えている。

Q 対象である低所得世帯とはどのような世帯か。

A 町県民税の均等割が非課税の世帯。そのほか、家計が激変した世帯についても状況に応じて対応する。今までの給付金の対応と同じである。

Q 基準日はいつなのか。

A 令和5年12月1日が基準になる。

議案等の審議結果一覧表

No.1	議案第57号	議会議員の議員報酬、期末手当および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
		議員の期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を県に準拠して改正。年3.15月→年3.25月。令和5年12月支給の期末手当を0.10月分増額。令和6年度以降の支給割合は、6月と12月支給分に均等に振り分ける。	
No.2	議案第58号	町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
		町長等の期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を県に準拠して改正。年3.25月→年3.35月。令和5年12月支給の期末手当を0.10月分増額。令和6年度以降の支給割合は、6月と12月支給分に均等に振り分ける。	
No.3	議案第59号	工事請負契約の締結	原案可決
		当初の工事の予定価格が5千万円未満であった工事に変更が生じ5千万円を超えたため、議会の議決を求めるもの。 常豊地区水路工事(西河内字松田前地内) 変更前工事請負金額49500000円 変更後工事請負金額50858500円。 契約の相手方 深谷建設株式会社 代表取締役 深谷佳孝	
No.4	議案第60号	令和5年度埴町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
		歳入歳出それぞれ6536万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ72億8455万円とするもの。主な内容は、期末手当の増額、低所得世帯向け給付金など。	



しもじゅう よしと 下重 義人議員

今を大切に

人口減少を抑制するためにも企業誘致を

ICT企業等の誘致を検討

【質問】 近年新たな企業の進出がないと見受けられるが、人口減少を抑制するためにも企業誘致を優先すべきではないか。

【答弁】 町内企業が求人を出しても人が集まらず、苦慮しているのが現状である。そこで工場等の生産施設企業より、ICT企業等の誘致を手段の一つとして検討していきたい。

带状疱疹予防と接種費用助成の考えは

自己判断で受ける任意接種で予防

【質問】 免疫力低下により带状疱疹にかかる患者さんが多いように思われるが、予防啓発につながるワクチン接種費用助成制度創設の考えは。

【答弁】 带状疱疹は感染症法や予防接種法上の規定はなく、自己判断で受ける任意接種となっている。今後は、



除去土壌の再生利用とは 線量の安全性等が大前提である



【質問】 東京電力福島第一原発事故に伴う除染で出た除去土壌を再生利用する考えは。

【答弁】 実証実験の結果、道路敷利用の技術的安全性の他、除去土壌線量の安全等を十分に検証、確認が大前提である。

指定避難場所の設備等の認識と改修の考えは

段差の解消、洋式便器の整備など財源も含めて検討

【質問】 災害時の指定避難所のスロープ段差の現状認識と、環境面でのトイレ（洋式便器の有無）の他エアコン設置などの改修計画は。

地域おこし協力隊の現状は 地域、行政が抱えている課題を5名で対応

【質問】 地域おこし協力隊の活動と今後の活動報告会などの開催予定は。

B&G提供の油圧ショベルや防災備品の有効活用は

行政区や地域団体に貸し出したい

【質問】 もうすでに貸し出していると思うが。

【答弁】 公共施設の環境整備に、観光協会やまち整備課に貸し出している。【質問】 使用に当たっての資格取得はどのようにしているのか。

【答弁】 貸し出しの時期は未定だが、団体（行政区や地域団体）のみとした。

町内河川の水害対策と県道整備の進捗状況は

水害対策は終了、県道整備は少しずつ前に進んでいる

【質問】 町内河川の土砂の撤去と堤防強化は終了したのか。

【質問】 県道高萩境線の木野反バイパスの進捗状況は。



すずき しげる 鈴木 茂議員

貴重な防災備品を宝の持ちぐされにならないように



埴町B&G防災倉庫

ふるさと納税赤字をどう解消するのか 返礼品の洗い直しや焼酎を加えて改善したい

【質問】 昨年のふるさと納税が赤字と聞くが。





かなざわ たらう 議員
金澤 太郎

農業に活力を！

農林業が町の主要産業と考えるが

主要産業となるよう努める

質問

答弁

質問 農林業が次の世代へ埴町をつなぐ主要産業と考えるが、町の考えは。

答弁 農林業が主要産業となるようしっかりと努める。道の駅はなわを農産物販売の拠点として農家の活性化を図っていききたい。農業法人の活性化・組織強化を図り、生産量を上げることに注力していく。林業では福島森林再生事業による間伐の実施で、多くの山林が活性化された。適切な管理がされ、美しい里山が維持されると考えている。

質問 朝採れ野菜を首都圏に販売できる地の利を生かし、農業で生活が成り立つシステムと、農業者を育てていく。農業公社・農業法人に出資し、就業してもらおう方法なども検討していく。特定地域づくり事業協同組合制度は、移住者中心で退職後も7割の方が定住している有望な仕組みだが、町内事業者が設立する必要はある。また、自立した事業継続が難しい側面もある制度だが、人口減少に伴う町内の労働者不足を解消する可能性はあると考える。



質問 農林業技術習得者に、町独自の奨学金制度は創設できないか。

答弁 林業アカデミー、アグリカレッジとともに修学者向けの国県の給付金制度があり、受講料と、一定の生活費分の給付があり、支援は十分と考えている。町独自の制度は、今後調査検討していく。

質問 農業収入保険制度への加入促進のため、町で一部助成できないか。

答弁 今後慎重に検討していきたい。

情報発信施策の強化は

町公式ラインの準備中

質問 「町の子育て支援メニューは充実している。周知できれば埴町で子育てをしたいというきっかけになるのではないか」との声がある。町の情報発信強化策は。

答弁 移住定住希望者には、子育て支援・介護支援分野は関心が高い。町民にも必要な情報発信強化策として、報が簡単に得られる仕組みは大事なことで、各種制度を一覧できるように調整を図っていく。発信力強化策として、ラインは多世代に共通で活用されているコンテンツであり、町外へのPRにも利用しやすいものと考え、令和6年1月に埴町公式ラインを開始すべく準備中。

生ごみの再利用についての考えは

町単独での実現は難しい

質問 生ごみを液肥にし、農業者が活用、農産物収量アップにつながっている自治体がある。生ごみの再利用を考えられないか。

答弁 生ごみは、重金属・プラスチックごみの抜き取りが必要で、再利用化は進んでいない。生ごみの再利用には、肥料業者との連携、施設の共同化広域化が必要となり、周辺町村を巻き込んでいく事業展開が最良の方法と考え、県や周辺町村と連携し情報収集に努める。

質問

全国町村長大会での活動内容は

答弁

決議・特別決議20項目、要望35項目を採択する

質問 全国町村会の「政務調査会行政委員会委員長」を務めているが、大会での採択案件を伺う。

答弁 地方自治に関する施策と諸課題について、目的達成のための実行運動が行われた。少子化対策の推進、子どもの子育ての強化、全国的な防災減災対策、東京一極集中の是正、

地方創生の推進、地方分権改革の推進、地方交付税等の一般財源総額の確保、脱炭素の推進、食糧安全保障の確立など、大会終了後、県選出国会議員に対し実行運動を行った。

釜藤堰用水の実証実験同意は得られなかった 常世中野区内の実証実験は同意された

質問 釜藤堰から取水して農業用水で、小水力発電の実証実験を始めると聞いていたが、その後の経過を伺う。

答弁 上石井区で2回の説明会を開催したが、受益者全員の説明と理解が必要とのこと

で賛同を得られなかった。小水力発電の情報発信に時間をかけた後に、再度説明したい。

質問 新たな取り組み場所はあるのか伺う。

答弁 現地調査の中で、水量・流速・水路幅が好条件であった

湯遊ランドはなわに環境美術館は

山林と環境を意識した具体的施策は必要

質問 町民に向けて、環境意向調査の実施は可能なのか伺う。

答弁 再生可能エネルギーを由来とした電力の導入意向を伺う内容で調査実施したい。

質問 議員研修で「徳島県営・木のおもちゃ美術館」を視察した。埴町もつながりがある「東京・木のおもちゃ美術館」の協力施設である。「このような施設を湯遊ランドはなわ施設内」に実現できないか。また、カー

質問 環境教育の目標として「環境の保全に寄与する態度の育成、環境教育に関する動向、環境教育や環境保全の重要性」が位置付けられているが、どのような環境教育をしているのか伺う。

答弁 「幼小中編・環境教育指導資料」があり、地域の実情に沿って「豊かな自然環境を守ろう」「笹原小の野菜栽培」「中学生の放射線教育」なども実践している。



よしだ ひろあき 議員
吉田 広明

環境保全は、国および地方公共団体や事業者と国民の責務

環境教育が子どもたちに与える影響は大きい

はなまる美化活動でゴミ拾い、久慈川の環境調査も実施

質問 環境教育の目標として「環境の保全に寄与する態度の育成、環境教育に関する動向、環境教育や環境保全の重要性」が位置付けられているが、どのような環境教育をしているのか伺う。

答弁 「幼小中編・環境教育指導資料」があり、地域の実情に沿って「豊かな自然環境を守ろう」「笹原小の野菜栽培」「中学生の放射線教育」なども実践している。



常世中野集会所北側の農業用水

た常世中野区で説明会を開催し、11月27日に実証実験の同意を得られた。



よしむら もりひろ 吉村 守広 議員

ふるさと納税の赤字解消

コンビニ交付サービスの利用件数は

有効発行件数は81件

【質問】10月16日からマイナンバーカードを利用して、全国のコンビニで各種証明書が取得できるサービスが始まった。朝6時30分～23時までで、1部200円である。これまでの利用件数は。
【答弁】12月7日現在、住民票46件、印鑑証明書29件、所得証明書3件、課税証明書3件合計81件。
【質問】現在交付される証明書は4種類だが、その他の証明書は。
【答弁】戸籍関係の証明書等は、利用状況や要望、他町村の動向などから検討する。

ふるさと納税の返礼品掘り起こしはブランド化した米等を検討

【質問】2019年から「返礼品は寄付額の30%以下の地場産品」となったが、町ではこれといった地場産品がなく、寄付が集まらない状況である。掘り起こしをすべきでは。
【答弁】町民の意見を聞きながら、返礼品の掘り起こしや開発をしていきたい。おいしい米があるので、ブランド化したい。また湯遊ランドの宿泊プランを高額化し、しっかりとしたサービスを提供する案も検討していきたい。

【質問】「木のまち塙」をアピールできるような木工製品を返礼品に加えては。
【答弁】費用も掛かるが、「東京おもちゃ美術館」と連携を図り、しっかりと検討していきたい。
【質問】ふるさと納税サイトでの掲載の仕方も検討すべきでは。
【答弁】サイトの見直しや変更、さらにプロのカメラマンによる写真の掲載の仕方も考えていきたい。



はなまるはうす

一般質問

はなまるはうすの現状は

子ども登録者数は28人

【質問】書かない窓口については。
【答弁】かんたん窓口システムがあり、本人確認機能と申請書作成支援機能を持ち合わせたもので、一部手書きするところがある。窓口のあり方でも、デジタル化を推進しながら、実態に合わせてサポートする体制を継続していく。

【質問】開所して半年になるが、子ども数やスタッフ数は。
【答弁】登録子ども数28人、スタッフ数はマネージャー2人、支援員9人、運転手1人合計12人。
【質問】保護者や子ども

からの要望や相談は。
【答弁】好評価をもらっている。要望にはその都度対応している。
【質問】町道が狭く、向いに空き家があるなど周辺環境が良くないと
【答弁】振興計画にもあげているように周辺空き家を購入して整備し、災害時にも使えるようにしたい。合わせて町道も拡幅していきたい。

町有林を大木・巨木の森にする構想を提案する

興味ある提案でありぜひ手がけてみたい

【質問】町有林(旧笹原財産区)の管理運営について、管理計画がない中で一部を皆伐したが、一般的な自治体所有林の森林経営とは一線を画し皆伐をやめて間伐を繰り返していく。そして数百年をかけて未来への遺産ともいつべき大木・巨木と広葉樹が混在する森を育てていくという、塙町独自の大木・巨木の森構想の実現を目指し広く意見を求め、その構想に沿った町有林管理運営計画の策定を提案する。
【答弁】興味ある提案である。町有林を保護していけばよいわけだからぜひ手をかけてみたい。

【質問】鳥取県日南町の管理経営条例は参考になる。子々孫々に誇れる塙町ならではの
【答弁】大木・巨木の森構想を盛り込んだ町有林管理条例を制定すべきと思うがいかがか。
【質問】他自治体の条例を参考に検討したい。



杉の巨木の森

町有林管理条例の制定を検討したい

【質問】鳥取県日南町の管理経営条例は参考になる。子々孫々に誇れる塙町ならではの
【答弁】大木・巨木の森構想を盛り込んだ町有林管理条例を制定すべきと思うがいかがか。
【質問】他自治体の条例を参考に検討したい。

在宅介護家庭に町からの感謝を伝えてはどうか

【質問】さまざまな理由で在宅介護をしている家庭があるが、そのために施設介護が抑制されている面もある。それらを鑑み、家族に対し一定の指針を設け、町長が訪問し何らかの感謝の意を伝えてはどうか。
【答弁】独居や生活保護の家庭、介護サービスを受けているなどさまざまな形態はあるが、全てのお年寄りがこの地域で住み続けられるようこれからも支援を行っていく。検討の価値はあるので、何らかの対応を考えていきたい。

小野田自然塾での自然体験キャンプの予定はあるか

【質問】小野田記念財団が施設の譲渡を受けたが、小野田自然塾での町内小学生を対象とした自然体験キャンプや自然学習の計画予定はあるか。
【答弁】学校や家庭ではできない内容の活動ができたが、自然塾側の体制が変わり、また、設備の改修が必要などの理由で平成30年を最後に休んでいる。新型コロナウイルスの影響もあつた。環境を整えば自然塾側と連絡を取り合い、教育委員会内で連携し実施を考えていきたい。



すずき たかのり 鈴木 孝則 議員

夢や希望を持ち続けていきたい



小野田寛郎さん揮毫 不境不屈

一般質問



よしだ かつのり 吉田 克則 議員

交通弱者の足「デマンドタクシー」一日でも早い運行を!!

町長の町政施策を問う

事業が確定すれば補正

質問

答弁

【質問】 予算に係る事業、事務執行の在り方は。

【答弁】 当初予算から執行が始まり、事業が確定すれば補正減し事業費を落としていく、緊急に対応しなければならぬ修繕費などは確保しておく必要がある。

【質問】 デマンドタクシー運行については。

【答弁】 デマンドタクシーは協議会で審議しているののでぜひ実現してほしい。

【質問】 地域敬老会事業については。

【答弁】 地域敬老会行事助成事業として行政区が年一回実施する敬老会、レクリエーション等地域のニーズに合わせた敬老会事業に対して、当該区に居住する80歳以上の区民一人に5000円を

一般質問

限度として助成を行っている。

【質問】 白河実業高校塙校舎応援については。

【答弁】 寄付の件は、町には相談がなかった。町民の方が自主的に始められたこと、感謝と敬意を表する気持ちでいっぱいである。

【質問】 原発事故に伴う除去土壌の町道使用発言問題については。

【答弁】 一部の雑誌に取材をいたただく、町民からの苦情等は一切受けていない。役場には何件か問い合わせがきている。



駅前十字路に設置してある「塙校舎応援団」170名を超える個人や団体からの応援看板

湯遊ランドはなわの状況報告は

月に一回定例会を開催報告受ける

【質問】 指定管理者「株式会社塙町振興公社」からの管理状況報告は。

【答弁】 株式会社塙町振興公社とは、支配人ほか幹部職員と月に一回定例会を開催し、営業報告や計画と実績値との比較等情報報告を受けている。

【質問】 指定管理条件通知はどのような内容なのか。

【答弁】 管理協定を結んでいる。管理業務の範囲、管理費用については甲乙協議により定めるとある。



湯遊ランドはなわ

学校等施設維持管理は

教育委員会学校の両方で

【質問】 町立学校施設等の維持管理は。

【答弁】 小中学校、こども園の管理については教育委員会、当該小中学校の両方で行っている。危険防止のためにも費用負担し修繕改善をしている。

職員人事行政の運営状況

会計年度任用

職員数増加

【質問】 会計年度任用職員数がかなり増えているが。

【答弁】 子ども第三の居場所が出来た。幼稚園、小中学校において支援を要する子どもが増え特別支援員が必要になった。住民ニーズに添えていくことで多くなっている。

質問

答弁

農作業省力化支援事業の補助金対象者が少なすぎる

令和6年度の支援事業の予算を増やし対応する

【質問】 令和4年度農作業省力化支援事業の対象者の組織・人数を伺う。

【答弁】 6団体・21名に支払った。

【質問】 支援を受けたい団体が多いが対応策があるか、また、本事業を承知していない方に広報する必要はある。対応策があるのか。

【答弁】 令和6年度の予算を増やして対応する。また、分かりやすい広報活動する。

【質問】 カブトエビ無農薬栽培の事業は、昔からあり、成功していない。個人的な費用で行うべきである。目的・支払いの詳細を伺う。

【答弁】 将来の農業省力化・継続的な生産性を検討したい。

【質問】 宿泊施設燃料高騰支援金の支払い基準の50万円はアバウトと思う。各宿泊人数を伺う。

【答弁】 人数が基準ではなく、一律に支払った。



公共交通空白地区をどのように考えていくのか

福島交通とデマンドバスを検討している

【質問】 公共交通活性化協議会で数年間、田代地区を含めた公共交通空白地区の具体的な議論が行われていない。今後の審議・実効ある対応を伺う。

【答弁】 公共交通活性化協議会の審議委員でなく（町長）、審議状況を承知していなかった。今後は、審議内容に注視していく。

【質問】 後期高齢者の交通事故防止・免許証返納のためにも早急に交通網の対応が必要だが。

【答弁】 福島交通とデマンドバスを検討している。鮫川村でバスの運行が始まった。塙町でも、この地にあった公共交通空白地区対策を早急に進めていく。

湯遊ランド事業を継続するのか

引き続き継続する

【質問】 今年度も補正で1000万円追加し、指定管理料を3500万円にした。今後、いつまで赤字の湯遊ランド事業を継続するのか伺う。

【答弁】 塙町の福利厚生施設なの

で、今後も引き続き継続する。コロナ禍が終了すれば、健全な経営が期待できる。施設の利用者が210万人を超えていることをご理解していただきたい。



あおと 青砥 議員

Reform

町のDX推進は検討して対策する

【質問】 労働力人口減少対策が目的としたDXだが、町の企画を伺う。

【答弁】 状況は承知している。十分検討して対策する。





鈴木 元久議員

町民の皆さまの声を大事に！

除去土壌の再利用の報道は

言葉足らずの説明であった

質問

答弁

質問 県町村会長として、または、埴町長としての会見か。

答弁 埴町長としての発言。

質問 他の自治体のことを言うべきではないかと思うが。

答弁 実証実験の結果を見て、使えるのではないかと思った。

質問 福島県民のことを無視した発言。謝罪すべきと思うが。

答弁 ホームページで謝罪文を掲載。

質問 取材を受けたのは誰か、また場所は。

答弁 正八幡神社の屋外で、私(埴町長)と南相馬市の門馬市長。

質問 IP告知で謝罪文を掲載したが、音声

による放送は。

答弁 ホームページとIP告知で掲載したが、音声による放送はしていない。

質問 IP告知で「詳しくは画面をご覧ください」と言っているが、目の不自由な人もいますので、全部詳しく放送すべきと思うが。

答弁 統計を取り、改善を検討する。

質問 埴町村会長としての発言の影響は大さくないか。今後は今回のことのないよう慎重に対応してほしい。

答弁 今後は現地で回答せず、文書で回答したいと思う。

低速電気自動車(グリーンスローモビリティ)運行状況は

11月15日から12月9日の22日間で延べ人数628人。1日平均27.3人。乗車された方のコメント「定期的に走らせてほしい」



鮫川村のデマンド交通実証実験

質問 今の時期または冬期間は大丈夫なのか。

答弁 乗車された方のコメント「よく買物に使っている」。「荷物あるととても便利」。「家の近くまで走ってほしい」。「風が冷たくて寒い。暖房がほしい」。

質問 鮫川村でデマンド交通の実証実験を行っている。埴町でも、デマンド交通の実証実験をしてはどうか。

答弁 予算を立てたうえで、良い悪いを見て実施したいと思う。

質問 町民が送迎する有償ボランティアタクシー(自家用車有償旅客運送)の事業の考えはあるか。

答弁 できればやってみたい。

質問 「讀と語る」で町民の意見。町には良い所、良い支援がある。PRが足りないが大変喜ばしいこと、広く町内外に報道しPRに取り組みたい。

質問 埴町地域振興事業20団体のPR、花の咲く時期・期間・場所のPR、またイベントの時期等の月ごとのパンフレット作成やインスタグラム・SNS等でのPRは。

答弁 地域の人たちがしっかりと取り組んでいるので、今後観光協会等でSNS等に掲載し、紙媒体等で作成したい。

質問 子育て支援事業・高齢者支援事業のPRをしては。特に5歳以下の子育てが大変なので、何か支援はないか。

答弁 ホームページに掲載している。パンフレットは現在作成中。また、町外へのPRもしていきたい。

質問 遊ぶ施設、特に小さな子どもたちが遊ぶ場所、またスケートボードのできる場所の設置はどうか。

答弁 町には開放的な広場はないが、体育館等を開放していきたい。また、スケートボードは需要を見極めて考えていきたい。

質問

育休中、兄弟は退園となるのか

答弁

預かれるよう検討していきたい

質問 待機児童が6人と県内最多だったが。

答弁 現在は解消している。保護者が育休中は兄弟は退園となるのか。

答弁 保護者が家庭でみられるという判断。育休が終われば預かれる。今後、家庭支援として育休中でも預かれるよう検討していきたい。

質問 求職活動中、預かってもらえる確認があれば採用されやすいのではないか。

答弁 90日を限度に預かれる。その後は内定通知書があれば預かれる。

質問 令和5年度・6年度の保育士受験者はゼロだが対策が必要では。

答弁 教育実習に来てくれた人を大切にしている。そして、町が子どもたちの教育に力を入れていくという情報発信をしていく。また県外からの受験者には交通費や宿泊費の助成を活用していきたい。

町は民間活力を取り入れていくべきでは

民間の考え方を使い、行政の効率化を進めていきたい

質問 今回、1200万円の予算を使い、はなわ魅力情報発信事業が始まる。町はこれまでも情報発信事業という名の事業をいろいろ行ってきたが、これまでもの違いは。

答弁 防災協定を結んでいる葛飾、練馬の区役所職員を主にターゲットとし、埴町の野菜、物産品の外販体制を確立していく。3年間の実証実験。

質問 はなま、ぬか床

万円投入して売り上げ195万円と厳しい状況。インスタ映えも必要だが味と健康へのエビデンスが重要では。

答弁 埴町産のぬか床の味と体によいというエビデンスについて、しっかりと対応していきたい。

質問 現在バラバラな情報発信サイトを統合しては。

答弁 今回ののはなわ魅力発信事業は、はなま事業、観光協会、物産協会などのサイトをま

とめてワンストップで分かるようにしていきたい。

質問 民間活力を取り入れるべきでは。

答弁 安くて質の高い公共サービスを効率よく提供していくには、民間に任せられるものは任せるといふことを前向きに検討していきたい。



菊地 哲也議員

町民すべてに恩恵がまわるように

公園整備の予定は

さまざまな角度から検討していく

質問 鶴子山公園は、遊具だけで1億8000万円かかったという。現在、公園整備への国、県からの補助金はあるのか。

答弁 補助金はない。

質問 公園整備をどのように考えているのか。

答弁 さまざまな角度、町民のニーズを考え検討していく。



公園整備はコンセプトが重要

ひとことインタビュー

令和5年12月定例会の傍聴者へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



いしかわ としひこ
石川 敏彦さん(栄町)

議員の方々には 町民の声をより多く 議会に届けられる活動を

傍聴のきっかけは
議会傍聴は40歳代以来です。今年度は、庁舎建て替え、Eメール商品券配布等、埴町にとって大切な事業が進んでいるように思い傍聴に来ました。

傍聴した感想は

議員、町執行部、町長、大きな課題から複雑な課題まで、丁寧に議論されていて、内容的にも興味深く傍聴しました。

町に対する意見や要望

全国どこの商店街でも、衰退による空き店舗の増加で寂しい街並みです。それが、埴町の中心地に存在するのも現実です。時間がかかることではありますが、明るい街並みづくりをお願いします。

議会に対する意見や要望

コロナの影響で地域の行事が減少し、議員の方々と各地域での身近な会話が少なくなつたと感じます。いまだに厳しい現状ですが、議員の方々には町民の声をより多く、議会に届けられる活動を引き続きお願いします。



あの質問はどうなったのか?

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

湯遊ランドへの管理費 (令和元年9月定例会)

湯遊ランドはなわ管理費への積極的な税金投入の考えは。

答弁

健康増進の目的

町民の健康増進目的の施設として役割を明確に出したい。町民に示し、親しんでいただける施設として位置付けしたい。

その後

令和5年11月全員協議会・12月定例会

令和2年以降、コロナ禍により湯遊ランドはなわ利用者が激減。令和4年にウクライナ戦争により、原材料や電気代等のエネルギーコスト高騰による経費負担増大となった。

令和3年に経営安定化資金3千万円を貸し付け、令和4年にエネルギー価格高騰対策支援金300万円を交付した。

令和5年収支見込みは、エネルギーコスト約4900万円と指定管理料、健康増進負担金を加えても2092万9935円の不足となる予想。そのため、今年度の指定管理料を1000万円増額し、経営の安定化を図る。(12月定例会・補正予算)

出産祝い金を出すべきでは (令和4年12月定例会)

子育てにはお金がかかる。埴町でも出産祝い金を出すべきではないか。

答弁

町財政を考えながら検討していく

結婚祝い金を出している。また給食費無償化などの子育て支援事業を行っている。出産祝い金については、町財政を考えながら検討していく。

その後

令和6年度より交付予定

母子手帳交付時に5万円、誕生時に5万円(国より)、誕生時に15万円(町より)



総務常任委員会

神山町創生戦略「つなプロ」とサテライトオフィスの取り組み

- ・視察日 令和5年11月6日(月)～8日(水)
・派遣先 徳島県神山町
・派遣委員 下重義人委員長ほか委員全員(7名)
・調査のまとめ



神山町地方創生戦略「まちを将来世代につなぐプロジェクト」を策定し、49歳以下の男女、移住者半々のメンバーで組織し「全てやり遂げる覚悟でなければ、神山の将来はない」との危機感を持って実行されている。当町でも、若者が将来を考えるワーキング体制の必要がある。

「沿革」人口4717人、高齢者数54%、面積173.3km2、スタダチ生産が日本一の町。神山町は地方創生の先進地、過疎地活性化の成功事例として全国的に注目されている。

○デジタル田園都市 地域アプリ「さあ・くる」の展開
マイナナンバーカードを活用した公共交通サービスの運営、営業展開。
○大埜地の集合住宅・地域熱供給の取り組み
将来世代につなぐプロジェクトで、大埜地の集合住宅で工夫したりサイクル・仕事・技術・学校などの多義的な取り組みと木質バイオマスによる地域熱供給。

○移住交流事業・サテライトオフィスの取り組み
移住交流支援事業・サテライトオフィス誘致活動は、認定NPO法人グリーンバレーが実施主体となっている。
○地域公共交通の変革
赤字経営の町営バスを廃止し、タクシー料金助成事業「まちのくるま」を導入に至った経緯とシステム・利用状況。

現在、団長を中心に消防団の組織の見直しを行っている状況である。令和6年度については、1年間かけて総合組織の見直しを実施し、7年度8年度については、その見直しを受けて小型動力ポンプ付の積載車の配備等の計画を更新していきたいと考えている。

予算決算常任委員会

埴町振興計画の審議

計画期間：令和6年度から令和8年度

- ・調査日 令和5年11月27日(月)
・場所 議場
・出席委員 吉田克則委員長ほか委員(計12名)
※議長は職務出席
・説明員 町長、教育長、各課等の長

1. 調査の結果

個別事業計画について、説明員から概要説明を受け計画全般を了承としたが、事業継続の必要性や対象者の見直し等を十分精査した上で、効率的かつ効果的な行政運営ができる予算計上を望む。

2. 主な質疑(抜粋)

Q ポンプ付積載車更新の件に關して、ここ3年、振興計画が毎年変わっている状態である。

A 現在の状況は、団長を中心に消防団の組織の見直しを行っている状況である。令和6年度については、1年間かけて総合組織の見直しを実施し、7年度8年度については、その見直しを受けて小型動力ポンプ付の積載車の配備等の計画を更新していきたいと考えている。
Q 代官所周辺景観整備事業の詳しい内容を。
A 土地を取得して、全体的な計画の中で町道の拡幅も実施したいと考えている。
Q 出産祝金事業について、2人目3人目は多く支給する考えはあるか。
A 現在、要綱を整備するのに調整している段階。1人目・2人目・3人目も同じく15万円ずつで考えている。
Q 子育て環境づくり遊具等整備事業は、公園をつくるようなイメージか、それとどのような施設を考えているのか。
A 2年間ぐらいかけて場所選定をし、公園整備と大型遊具の整備ということで進めていきたいと考えている。

Q 林業振興に地域おこし協力隊活動事業が掲載されているが、林業関係に1人か2人ということがあるか。
A 林業に特化したという形での募集しているところである。問い合わせ等が数件あるが、採用には至っていない状況である。
Q Jアラートについて、国と県が一体になっていたのを別々にするということだが、氣象警報とかサイレンも前ぶれなしで入ってくる。何とかならないのか。
A 国から来る情報を迅速に流すことで、ダイレクトに流れてしまふ。町の方にも問い合わせがかなりきている。国に対して、ワンタイム何か挟んでくれないかという要望をしているが、なかなか改善されない状況

Q 埴町公民館・地区館・分館維持工事について、地区館には冷房がないため、夏場暑くて使いづらい。ぜひ冷房を入れるような計画をしていただきたい。
A 現在のところは、区で購入していただく、あるいは寄付で付けていただくということでは、検討課題とさせていただきたいと思う。
Q 活発な質疑が行われました



ゼロ・ウェイストと葉っぱビジネス

経済常任委員会

- ・視察日 令和5年11月6日(月)～8日(水)
・派遣先 徳島県上勝町
・派遣委員 七宮広樹委員長ほか委員全員(6名)
・調査のまとめ

1. ゼロ・ウェイスト
上勝町は、焼却・埋め立てゴミを極小化、処理費用の削減を目指した結果、13種類45分類しゴミのリサイクル率80%を達成している。町有のゴミ収集車は無く、ゼロ・ウェイストセンター内のゴミステーションに町民が



直接搬入している。生ごみは町民自らがリサイクルできる唯一のゴミとして捉え、各家庭・企業ごとにコンポスト、または電動生ゴミ処理機(購入補助あり)で堆肥を作り活用されている。
2. 葉っぱビジネス
主要農産物だったみかんが低温被害でほぼ全滅し、新たな視点から生まれたビジネスで、マスコミでの取り上げもあり視察者が多い。生産者は150人ほどで年間総売上2億4千万ほどになる。料理の引き立て役となる「つまもの」の紅葉の葉等、取り扱い品目は320種になる。販売システムは第3セクターの株式会社いるどりが、全国からの注文を受け、生産者に一斉に発注内容を送り、各自タレット等から早いもの勝ちで受注し、正午までに収穫しJAに納品、JAが全国に発送する仕組みである。(手数料はいろいろ5%、JA2%) 生産者からも、品質向上等含めた草創期から現在の状況まで伺えた。特色ある事業を展開する地域の行政視察は、議会にとどまらず、町職員も同行し、共に見識を広め学ぶことが町発展に役立つ行政視察になると思う。

賛成多数により可決(財産の取得の変更)



起立採決の様子

10月 臨時会の あらかし

令和5年10月16日に第4回臨時会(会期1日間)を開催。議案3件の審議を行い、全件とも原案どおり可決となりました。

質疑(条例)

審議結果一覧No.1

Q 油圧シヨベルなど、町民への貸し出しは行わないのか。

A 手順になっているか。鍵の管理は、機材等の運搬方法はどのようになるのか。

Q (町長) 行政区や地域などで使用する場合、操作する技術者がきちんととされている。貸し出しも考えられる。検討を加えていく。

A (生活環境課) 建築確認は所定の手続きをとっている。鍵の管理責任者は「生活環境課長」と規則に定める。運搬方法については、油圧シヨベルと運搬用トラックが1組セットになっている。災害時の状況に応じて、臨機応変に対応していきたい。

Q 機材等の通常のメンテナンスはどのようにするのか。

A (生活環境課) 日常のメンテナンスは、町が責任を持って管理していく。倉庫について建築確認はどのような

Q 機材等の通常のメンテナンスはどのようにするのか。

A (生活環境課) 日常のメンテナンスは、町が責任を持って管理していく。倉庫について建築確認はどのような

Q 倉庫について建築確認はどのような

A (生活環境課) 日常のメンテナンスは、町が責任を持って管理していく。倉庫について建築確認はどのような

Q 増額の内訳は。
A (まち整備課) 傍聴席椅子を28席から20席にし、傍聴席椅子メモ台付を8席追加する。また、コンセント穴あけ加工(コンセント1口含む)を32席行う。



質疑(契約)

審議結果一覧No.3

Q 令和8年度工事で平面交差踏切工事があるが、新たな踏切の設置はハードルが高いのではないかと、国交省とJRで協議は進んでいるのか。

A (まち整備課) JR水戸支社と何度も協議を重ね、平面交差で了解をいただいている。第6踏切と第7踏切(ともに軽車両のみ通行可)を廃止し、新たに一カ所設置2減1増で再編することで許可を得たと伺っている。

Q 起点・終点ともに信号機は付かないと聞いているが、起点の松岡側の国道118号線に出るところは危険であるため、信号設置のための働きかけの考えは。

A (町長) 信号機の設置は望んでいる。国道から見たとき、カーブがあり見通しが悪いので、予告信号も併せての設置の働きかけを進める。



七宮広樹議員

先々のことを考え整備すべき

賛成

討論

反対



吉田克則議員

町民は経費増を望んでいない。庁舎建設に係るこれ以上の経費増を町民は望んでいない。議場内の備品だけで、前回議決してから3カ月しか経っていないのに70万円の補正増である。結果的に追加工事を認めることにならないのではないか。

開かれた議会、これから議員になる方、そのときには議場内にタブレットやパソコンが持ち込みになったりする。今回の提案内容は必要不可欠である。傍聴席についても、利用しやすい設備に整備すべきである。

採決結果

議案第43号 財産の取得の変更	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
原案可決(賛成10、反対2)	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—

○賛成 ●反対 ※議長(割貝寿一)は採決に加わらない

議案等の審議結果一覧表

No.1	議案第42号	埴町B&G防災倉庫設置に関する条例の制定	原案可決
No.2	議案第43号	財産の取得の変更	原案可決
No.3	議案第44号	工事請負契約の締結	原案可決

質疑(財産の取得の変更)

審議結果一覧No.2

Q 変更後の内容にある「コンセント穴あけ加工」について、財産の取得の変更にあたるのか。

A (まち整備課) 椅子・傍聴席、一つの契約であり、その机にコンセントが付くという事で議案提出している。内容は、家具メーカーでコンセントを付け、電気の配線は庁舎建設を進めている電気工事の方で対応

Q (生活環境課) 防犯カメラを設置し録画できるようにしている。機材そのものについても、遠隔でどこに使用しているのが管理できる状態としている。

A (生活環境課) 防犯カメラに至っていない。今後配備したいと考える。

Q メディカルセットを常設・配備した方がよいのでは。

A (生活環境課) 運用については、分散して配備することの検討をする。

Q (生活環境課) 建築確認は所定の手続きをとっている。鍵の管理責任者は「生活環境課長」と規則に定める。運搬方法については、油圧シヨベルと運搬用トラックが1組セットになっている。災害時の状況に応じて、臨機応変に対応していきたい。

A (町長) 使えるものは使つて庁舎建設を進めると言っていたが、今回増額の提案である。町長は何か指示したのか。

議会だより モニターさんの声

①表紙・裏表紙

- 古き良き伝統風景、実りの秋「千歯こき」いつまでも伝承してほしい。
- もみじを育てる会。長きに渡る活動、皆さんの熱意に頭が下がります。

②2～9ページ（令和4年度決算、9月定例会）

- 決算質疑の内容がトピックごとに分かりやすくまとまっていた。監査委員の意見について、内容を一部抜粋してそのまま載せるより、要点をまとめて掲載した方が分かりやすいのではないと思う。
- このような分野にもお金を使っていると驚いたのが正直なところ。
- 埴町の借金はいくらあるのかを明確にしてほしい。その返済については？

③10～18ページ（一般質問関連）

- 丁寧に内容を読み進めると、それぞれの議員が問題点を取り上げて議事として発言し、最良の対策を提案している姿には、大変心強く感じられる。今後ともに良い意見をたくさん提案されることを期待している。
- 特に気になったのがタクシー券について。埴町は、中心部から山間部までの距離が大変遠く、

前回10月20日発行の議会だより第164号に対する議会だよりモニターの声に掲載します。

- タクシー券を利用してもすぐに使い切ってしまう。路線バスが走らない地区もあり、ますます過疎化が進んでしまう。
- 夏祭りについての質問がいくつかあったが、祭りは町民の帰属意識を高め、地域への関わりを生む大切な行事だと思うので、今後も積極的に議題にしていってほしい。
- 一次産業のさらなる支援を強化し、早急に対応していかないと埴町の農地は荒野に変わる。合わせて、移住者対策も万全な対応を望む。

④後半ページ

- 議員の皆さんがそれぞれ自分の担当内容を町民に伝えるために書き上げた原稿は、一人一人のプライドと主義・主張が詰まっているのを感じながら拝読している。
- ひとことインタビューのコーナーは、議会傍聴者から町・議会への生の声を聞ける良い企画と思う。これからも継続していただきたい。

⑤その他

- 追跡レポートのその後について、スペースがあるのでもっと詳しくても良いのではないかと思います。



研修内容を議会・議員活動につなげます

議員としての資質向上を図る

福島県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が10月23日、ビッグパレットふくしま(郡山市)で開催され、全議員が参加しました。県内の町村議会議員が参加する研修会で、東京大学大学院法学政治学研究科教授の金井利之氏による「議会改革・議会活性化のための議会活動」と、ジャーナリスト、学習院シニアフェロー・岩田公雄氏による「これからの政局・政治の行方」についての講演があり、意義ある研修会となりました。

議会活動出欠状況

令和5年10月1日～令和5年12月31日

年月日	会議名称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
委員会														
5.10.5	広報常任委員会（議会だより編集）	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
5.10.11	広報常任委員会（議会だより編集）	私用	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
5.10.16	議会運営委員会（10月臨時会運営）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
5.11.27	予算決算常任委員会（埴町振興計画）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.11.28	議会運営委員会（12月定例会運営）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
5.12.7	総務常任委員会（閉会中審査内容決定）	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-
5.12.7	経済常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○
5.12.7	広報常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
5.12.12	議会運営委員会（追加議案）	-	-	-	-	○	忌引	-	○	○	○	-	○	○
5.12.12	議会運営委員会（12月定例会検証）	-	-	-	-	○	忌引	-	○	○	○	-	○	○
5.12.19	議会運営委員会（12月臨時会運営）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	私用	○
定例会・臨時会														
5.10.16	10月臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.12.7	12月定例会（1日目：議案説明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.12.8	12月定例会（2日目：一般質問6名）	○	○	○	○	傷病	○	○	○	○	○	○	○	○
5.12.11	12月定例会（3日目：一般質問4名）	○	○	○	○	傷病	忌引	○	○	○	○	○	○	○
5.12.12	12月定例会（最終日：議案審議）	○	○	○	○	○	忌引	○	○	○	○	○	○	○
5.12.19	12月臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○
全員協議会														
5.11.1	全員協議会（除去土壌の再生利用についての町長発言）	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	私用	○	○
5.11.24	全員協議会（湯遊ランドはなわ指定管理）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	遅参	○	○
5.12.1	全員協議会（令和5年度定期監査等結果報告）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.12.12	全員協議会（追加議案）	○	○	○	○	○	忌引	○	○	○	○	○	○	○
5.12.12	全員協議会（議会報告会・意見交換会まとめ）	○	○	○	○	○	忌引	○	○	○	○	○	○	○
研修・議会報告会														
5.10.23	町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.10.27	「議員と語ろう」議会報告会・意見交換会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.11.6～8	総務および経済常任委員会合同行政視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○出席 - 該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

町議会ホームページ 議会の様子(一般質問)を視聴できます



「埴町ホームページ」→「埴町議会」→「議会中継」をクリックすると動画を視聴できます。
※議会終了後、2～3週間後の配信になります。
※その他の質疑は、「会議録」をクリックしご覧ください。

私もひとこと

委嘱されたモニターさんに議会だよりへのご意見をいただきました。

住んでよかったと心から思える埴町に



かみなが むつこ
神永 睦子さん
(柳町)

モニターになり、議会だよりをよく読むようになり、外で仕事をすることが多くなったので、以前よりもずっと埴町を身近に感じていまして、分かりやすい議会だよりになる一助となります。

町民の方に町のさまざまな問題について関心を持ってもらえれば、議員の皆さんには、町民のために使命感を持って頑張っていた方がいい。みんなが住んでよかったと心から思える埴町になるように、微力ながら協力していきたいと思っています。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：埴町青少年健全育成町民会議笹原地区推進協議会
 活動場所：笹原地区
 会 員：笹原地区民
 連絡先：笹原小学校 TEL：0247-43-0609

これからも子どもたちの笑顔のために

「子どもたちの健やかな成長と思い出をつくってあげたい」との思いから、同協議会では、笹原地区民全体で、子どもたちの健やかな成長の一助となる活動を行っています。

最近の主な活動は、8月に実施する「川上川溪流魚釣り大会」、秋のレクリエーションとしてのハイキング（蒼ヶ島、弘法山、那倉川溪谷など）、11月に笹原小学校で実施する「わら細工・竹細工・木工細工教室」です。

活動は昭和59年から39年続いています。長きにわたる子どもたちの成長を見守る活動が評価され、本年度、団体の部で福島県青少年育成県民会議会長表彰を受賞されました。

協議会を代表して2名の方にお話しを伺いましたが、「これからも子どもたちの笑顔のために活動が続けていきたい」とうれしそうに話してくれました。



さまざまな思い出づくり・活動を行っています

令和6年1月1日に発生しました能登半島地震におきまして、お亡くなりになられた方々、そのご家族、ご親族、関係者の方々に対しまして、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

相次ぐ余震と寒さの中、不安が募る状況が続いておりますが、皆さまの安全と、一日も早い復興をお祈りしております。

埴町議会

編集後記

子育て環境整備の子どもの第三の居場所「はなまるはうす」がオープンし、これから小水力発電の実証実験もスタートします。新庁舎も3月に落成を迎えるなど、埴町をより良く住みやすい町になることを願い、任期満了まで頑張っていきたいと思えます。

吉田 広明

あなたも議会を傍聴してみませんか

令和6年3月定例会は3月4日(月)からの予定です。

場所 役場2階 議場

詳しい日程は、議会運営委員会で決定後にホームページ等でお知らせします。



広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
金澤	鈴木	吉村	吉田	菊地	青砥
太郎	元久	守広	広明	哲也	與藏